

# いわて未来づくり機構が平成27年度に取り組んだ県民運動

## ～ 本格復興と希望郷いわての実現に向けて ～

### 最重要事項

県民運動	目標		取組状況		
	目指す姿(最終目標)	H27年度機構の取組目標	産	学	県
<p><b>2016希望郷いわて国体・大会開催に係る協力</b></p> <p>県民一人ひとりがそれぞれの立場で支える 県民総参加の国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の実現に向けて取り組む</p>	<p><b>■H28「県民総参加」による国体・大会の実現</b></p> <p>国体等への参加、おもてなしの心で歓迎、復興支援への感謝</p>	<p>■県内外各層への開催趣旨等の幅広い浸透</p> <p>■募金2億円の確保</p> <p>■企業協賛1.6億円相当の確保</p> <p>■多様な運動による盛り上がり、機運の醸成</p> <p>■ボランティア参加者の掘り起し</p>	<p>【岩手銀行(岩手経済同友会)】</p> <p>○国体PR広告を独自に作成し、県内の支店に掲出中(4月～)</p> <p>ATMラッピング(2カ店)</p> <p>ウォールステッカー(84カ店)</p> <p>○支店窓口への募金箱設置(4月～、50カ店)</p> <p>○開会式・閉会式における行員ボランティア参加希望者の募集(4月～)(11月末現在257名)</p> <p>○スポーツマガジン「スタンダード」への国体応援シリーズ広告掲載の実施(10月～)</p> <p>○行員名刺への国体キャラクター掲載(10月～)</p> <p>○冬季国体への競技役員派遣(1月)</p> <p>【県商工会議所連合会】</p> <p>○事務局へ職員1名派遣</p> <p>○募金・企業協賛金の協力依頼</p>	<p>【岩手大学】</p> <p>○岩手大学スポーツユニオン教員による国体実行委員会への参画</p> <p>○総合型地域スポーツクラブに対する県民運動協力の働きかけ</p> <p>○大会ボランティア養成講座</p> <p>○大会ボランティア募集</p> <p>【県立大学】</p> <p>○希望郷いわて大会の選手団サポートボランティア養成協力校として、90人の学生ボランティアを養成、派遣するための取組実施(休校措置、養成講座の実施を決定、ボランティアの募集開始)</p> <p>○国体、全国障害者スポーツ大会の開催に資する研究の実施(「ひとにやさしいまちづくり推進指針見直しに係る研究」【地域提案型地域協働研究】)</p> <p>○希望郷いわて国体、希望郷いわて大会「130万人で参加宣言」への登録</p>	<p>○総合的な企画立案、連絡調整</p> <p>○イメージソング、ダンスによる普及啓発</p> <p>○募金・企業協賛の募集(12月末累計実績) 募金226百万円、企業協賛316百万円</p> <p>○運営ボランティア数(12月末時点)</p> <p>本大会 1,709人/1,800人 95%</p> <p>障スポ大会 3,106人/3,500人 89%</p> <p>○テレビ、ラジオ、HP等を活用した広報展開</p> <p>○冬季国体歓迎装飾(12～2月)</p> <p>○文化プログラム実施</p> <p>[国体大会プラス関連]</p> <p>○部局横断による「拡張国体・大会推進大作戦(17事業)」の企画立案(一部事業を年度内実施)</p>
<p>選手の競技環境を整備することで、選手強化を側面から支援するとともに、 本県選手の活躍による県民への勇気と活力を与えるきっかけ作りに取り組む</p>	<p><b>■競技力の向上</b></p>	<p>■強化選手約30名の県内企業等への就職</p> <p>■競技力向上に向けた側面支援</p>	<p>【岩手銀行(岩手経済同友会)】</p> <p>○強化選手1名採用(採用累計2名)(27年4月)</p> <p>○強化選手2名採用予定(28年4月)</p> <p>○アイスホッケー競技への強化選手派遣(1月)</p>	<p>【岩手大学】</p> <p>○国体強化指定選手に対する練習会場の提供</p> <p>○岩手大学スポーツユニオンによる競技指導</p> <p>【県立大学】</p> <p>○競技力向上に資する研究実施(「自転車競技用運動解析センサーシステムの開発研究」【地域イノベーション戦略支援プログラムの研究成果を活用】)</p>	<p>○就職支援の実施</p> <p>「2016いわてアスリート就職 マッチング」開催(H27.3.20)</p> <p>18社・団体、選手33名参加</p> <p>⇒合格・内定状況</p> <p>民間企業18人、県(職員、教員等)13人</p> <p>○選手強化の支援</p> <p>補助金交付等 451,217千円</p>
<p><b>ILCの実現に向けた取組</b></p> <p>震災からの復興をはじめ、多文化共生社会や産業のイノベーションなど社会・経済の改革につながる ILCの実現に向けて取り組む</p>	<p><b>■ILCの実現</b></p>	<p>■ILC実現に向け、国内外へのILCの概要や意義の浸透</p> <p>■日本政府の誘致表明への働きかけ</p> <p>■外国人研究者とその家族等の受入環境整備の促進</p> <p>■加速器関連産業の支援</p>	<p>【岩手銀行(岩手経済同友会)】</p> <p>○岩手県ILC推進協議会を通じた誘致活動への協力(4月～)</p> <p>○営業部店長へのILC誘致活動応援ピンバッチ配付(1月～)</p> <p>【県商工会議所連合会】</p> <p>○県民向け講演会開催(3回)</p> <p>○学生向け講演会開催(30講座)</p> <p>○調査研究視察(KEK等)</p> <p>○要望提言活動(8回)</p> <p>○国際会議への協力(2回)</p> <p>○レセプションの開催(4月)</p> <p>○情報発信の強化(英語版HPリニューアル)</p> <p>○各種グッズの作成・配布</p> <p>(ILC応援年賀状(28,000枚)、ポスター(1,000枚)、クリアファイル(1,500枚)、ピンバッチ(3,000個)、地形ジオラマの作成)</p>	<p>【岩手大学】</p> <p>○ILC推進協議会の開催</p> <p>○加速器科学連続セミナー(全3回)</p> <p>【県立大学】</p> <p>○ILCに関する国内外の動向調査の実施(ILC日米友好議員連盟と米国ILC関係者との情報交換等)</p> <p>○ILCをテーマとする講演依頼への対応(本学公開講座、県ILC推進協議会公開講演会、いわてILC加速器科学推進会議講演会等)</p> <p>○ILCの実現に資する研究の実施(「国際交流協会等の支援拠点における実践、効果的な外国人支援のあり方の研究」、「ILC建設に伴う外国人の医療環境整備へ向けた取組に関する研究」【地域提案型地域協働研究】)</p>	<p>○総合的な企画立案、連絡調整</p> <p>○国への要望(5月、6月)</p> <p>○講演会講師対応(随時)</p> <p>○テレビ、HP等を活用した広報活動</p> <p>○世界各国の素粒子物理研究所広報担当者視察対応(4月)</p> <p>○海外向け英語広報誌「THE KITAKAMI TIMES」の発行</p> <p>○いわて加速器関連産業研究会の設立・活動支援</p>

# いわて未来づくり機構が平成27年度に取り組んだ県民運動 ～ 本格復興と希望郷いわての実現に向けて ～

重点事項		県民運動			
県民運動	目標		役割分担		
	目指す姿(最終目標)	H27年度 機構の取組目標	産	学 県	
<p><b>台湾との定期便の就航</b></p> <p>昨年度に引き続き運航される春季定期チャーター便の利用促進を図るとともに、定期便化の実現に向けて県内の機運醸成に取り組む</p>	<p>■ 経済・文化等の交流の促進</p> <p>■ 定期便の就航</p> 	<p>■ 定期チャーター便 (春季5/12-6/26) の利用促進</p> <p>■ 定期便就航実現</p>	<p>【岩手銀行(岩手経済同友会)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○いわぎん「海外視察ミッション」の実施(11月) 参加者27名(台湾・ベトナム)</li> </ul> <p>【県商工会議所連合会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○台湾ミッション団への参加(6月)</li> <li>○「のぼり」「ポスター」掲示による啓発</li> </ul>	<p>【岩手大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○留学生によるチャーター便利用者への入出国手続きサポート</li> <li>○高雄師範大学との学生交流(交換留学)</li> <li>○高雄師範大学学長表敬訪問</li> <li>○台湾・岩手大学留学生同窓会</li> <li>○台湾向けの岩手県PR番組への留学生出演</li> <li>○東日本大震災津波・岩手県復興報告会(岩手県主催)への出席</li> </ul> <p>【県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○朝陽科技大学との交流の実施(相互訪問によりH28年度からの大学院研究者間研究交流の実施、H28.4に朝陽科技大学で開催される国際会議への本学教員及び大学院生の参加等を合意、台中震災科学館との災害情報システム研究について国際交流)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県ミッション団派遣、知事によるトップセールス(6、11月)</li> <li>○定期便化の目標時期(2017年)の明確化</li> <li>○パスポート取得応援キャンペーン、国際交流拡大支援助成等による需要創出</li> <li>○テレビ、ラジオ、ホームページ等を活用した機運醸成</li> <li>○春季便はアウトバウンドで1,378名(延べ人数)が利用(台湾桃園国際空港の滑走路工事により、秋季はインバウンドのみ)</li> <li>○震災後初となる高雄からのプログラムチャーター便が運航されるなど、台湾との交流が拡大</li> </ul>
<p><b>「平泉世界遺産の日」(6.29)に関する取組</b></p> <p>平泉の文化遺産について国内外の人々の理解を深め、将来の世代に継承していくとともに平泉世界遺産を活用した地域の振興に取り組む</p>	<p>■ 平泉文化遺産の理解促進</p> <p>■ 将来世代への継承</p> <p>■ 平泉文化遺産を活用した地域振興</p>	<p>■ 「平泉世界遺産の日」を契機とした関連事業の実施及び参画</p>  <p>「ケロ平」</p>	<p>【岩手銀行(岩手経済同友会)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行員による、事前準備及び当日のイベント活動への協力</li> </ul> <p>【県商工会議所連合会】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「平泉世界遺産の日推進協議会」、「平泉世界遺産登録5周年記念事業推進会議」の設立(4月)</li> </ul>	<p>【岩手大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○県民一般を対象とした「平泉文化セミナー」開催(8回)</li> <li>○平泉世界遺産の日に合わせ「平泉文化遺産特別講習会」を開催(岩手県、平泉町、奥州市、一関市との共催)</li> <li>○第16回平泉文化フォーラムの開催(岩手県教育委員会との共催)</li> </ul> <p>【県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平泉文化遺産を活用した地域振興に資する研究の実施(平泉などをフィールドとした「ウェアラブルデバイスを活用したユニバーサルツーリズム安心システムの研究」[i-MOS研究課題])</li> <li>○平泉町地方創生総合戦略策定、推進支援(総合戦略策定委員会委員長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演会・シンポジウムの開催(5月～6月)</li> <li>○カエル板絵の特別公開(5月)</li> <li>○タイアップイベントの開催(6月) めんこいまつり(主催:MIT)へのブース出展</li> <li>○県民講座の開催(6月～11月) ・ラジオ(エフエム岩手)による「県民講座」の開催(12回)</li> <li>○全国誌を活用した広報展開 中尊寺山田貫首と俳優村上弘明氏の対談記事掲載 ・JAL機内誌「SKYWALK」(8月) ・旅の手帖(8月)</li> <li>○弁慶とともに登る中尊寺・月見坂車いす体験会(9月)</li> <li>○県政テレビ番組、CM(テレビ、ラジオ)、新聞、ホームページ等を活用した広報展開</li> </ul>